

場所	分類									
原子炉建屋内 RB	1 時間									
タービン建屋内 TB	2 距離									
R ZONE R	3 遮へい									
Y ZONE Y	4 線源の除去									
G ZONE G	5 遠隔、リモート化									
その他() Z	6 汚染拡大防止 7 その他									
Y	4									
	番号 01-15-2									
内 容	法兰ジ型タンク解体作業におけるレーザー除染の採用									
作業部位	1F構内 タンクヤード									
概 略	法兰ジ型タンクを解体にあたりβ線被ばくを低減するため、レーザー除染を行っている。									
評価・定量	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">効果</th> <th>対策前</th> <th>対策後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被ばく線量(mSv)</td> <td>179.7(β線)</td> <td>127.0(β線)</td> </tr> <tr> <td>人工数(人日)</td> <td>--</td> <td>--</td> </tr> </tbody> </table>	効果	対策前	対策後	被ばく線量(mSv)	179.7(β線)	127.0(β線)	人工数(人日)	--	--
効果	対策前		対策後							
	被ばく線量(mSv)	179.7(β線)	127.0(β線)							
人工数(人日)	--	--								
事例詳細	<p>対策前 フランジタンク内は高エネルギーβ線放出核種で汚染しており、解体に際してβ線被ばくが問題となっていた。</p> <p>対策内容 タンク表面に付着したβ線からの被ばくを低減するため、改良したレーザー除染装置を使ってタンク全面の除染を行い、タンク解体時の被ばく低減・汚染拡大防止を図った。</p>									

被ばく低減対策好事例集

▶タンク側面へのレーザーの照射は、1ブロック(600×300mm)とし、

照射⇒移動⇒照射⇒移動を繰り返す。

▶レーザーアームが2本あり、各レーザーが約180度回転することで、

タンク側面全体へのレーザー照射を可能としている。

